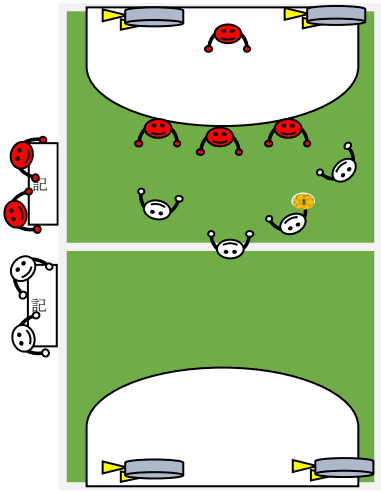
⑵　体育科での取組【ミニハンドボール】

①　オリエンテーション

・　はじめのルールを確認する



・６人１チームでコートに４人、記録係２人
・子供用ハンドボール１号球
・縦２０ｍ、横１５ｍ、ゴールエリア６ｍ、ゴールはエリアから内１ｍ２個
・ゴールは可動式で、技術が進んでいくごとに真ん中に寄せても可能
・ボールが自分のコートにあるときはゴールエリアに一人だけ入り、キーパーになってもよい。
・ボールが相手コートにあるときは相手ゴールエリアに入ってはいけない。
・自分のチームに１点入ったらローテーション
・４ｍ程度まで進んでいい
・ボール保持者の半径１ｍ以内には近づかない
・ラインからボールが出たら最後に触ったチームではないチームのラインスタート
・点数が入ったらゴールエリアからキーパーのパスでスタート
・ドリブルは１回まで
・得点の仕方は、違う人が得点するたびに高得点
（例）Ａ君が１点目の時、以後Ａ君が何回得点しても１点ずつであるが、Ｂ君が次に点数を入れると２点、３人目の点数で３点とボーナス点になる。

・　メインゲームを行いながら、ルールを追加したり、変更したりしながら自分たちに合ったルールを、共通理解のもとに作成していく。

②　大会動画を見ながら、ハンドボールの魅力を味わう。

国際大会の動画

・　ジャンプしてシュートするにはどうすればいいんだろう？
・　トリッキーなパスでフォーメーションをつくるにはどうすればいいんだろう？
・　どこかの国をモデルとして、自分たちのチームに国名をつけよう。

③　シュートの仕方はどうすればいいのか？

・　力強いシュートをするには？
・　ジャンプシュートをするには？

教室後方に記録表と対戦表を掲示

④　捕りやすいパスの仕方はどうすればいいのだろう？

・　パスする方の手の使い方・回転のかけ方（プッシュパス）
・　パスを受ける側の手の広げ方、姿勢、向き

⑤　パスをもらうための動きって？

・　パスをする側（スペースの見つけ方）
・　パスをもらう側（スペースへの動き方）

⑥　点を取るための作戦って？

・　攻めるポジション（均等に４等分、ポストを入れる、おとり作戦、クロス）

⑦　点を取られないための作戦って？

・　守るポジション（マンツーマン、ゾーン）

⑧　国際大会（熊本大会）の決勝戦を動画で観戦

・　自分たちとの違いを感じて、感想を書く。
・　自分たちの動画と見比べる。
・　ルールを見直す。

自分たちのゲームと比較する